



2025 年 12 月 15 日

各 位

会社名 株式会社フライヤー
代表者名 代表取締役 CEO 大賀康史
(コード番号：323A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 望月剛
(TEL 03-6212-5115)

連結決算移行に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月期第 3 四半期決算より、従来の単体決算から連結決算に移行いたします。2026 年 2 月期の連結業績予想及び 2026 年 2 月期通期個別業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算への移行について

当社は、2025 年 9 月 1 日付「株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、2025 年 9 月 1 日付で株式会社 AIStep を子会社化いたしました。これに伴い、2026 年 2 月期第 3 四半期連結会計期間より連結決算へ移行いたします。

2. 連結決算への移行に伴う連結業績予想について

2026 年 2 月期連結業績予想（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日連結業績の概要）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	1,072	92	76	75	70	20.55

3. 連結業績の概要

上記の連結業績予想は、連結対象となる株式会社 AIStep の業績を織り込んだ数値であります。なお、今後は連結業績予想のみ開示を予定しております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. 個別業績予想の修正について

2026 年 2 月期個別業績予想の修正（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想（A） （2025 年 4 月 14 日発表）	1,120	100	99	98	28.85
今 回 修 正 予 想（B）	973	48	53	57	16.91
増 減 額（B－A）	△146	△51	△45	△40	－
増 減 率（％）	△13.1	△51.5	△46.1	△41.4	－
（参 考）前 期 実 績 （2025 年 2 月 期）	948	8	2	11	3.60

修正の理由

2026 年 2 月期の個別業績予想については、法人向けの人材育成サービスである「flier business」を中心としたエンタープライズ事業セグメントの 20%超の成長により、売上高全体として対前期比 18.1%の増加を計画しておりました。上半期に発生した大型案件のダウンセルや新規受注の伸び悩み等の影響を加味して直近の状況を精査した結果、対前期比で増収は確保しているものの、売上高は当初計画を下回る見通しとなりました。

上記に伴い、エンタープライズ事業セグメントの売上高は当初予想 840 百万円から 714 百万円へ減少、コンシューマ事業セグメントは 279 百万円から 258 百万円への減少（連結では 357 百万円への増加）となる見通しです。

また、売上高の減少に伴う要因に加え、M&A 等の新たな成長戦略の先行投資に注力している影響から、営業利益以下の各段階損益も対前期比で増益を確保しているものの、当初の想定を下回る見通しです。

なお、「flier business」を軸としたエンタープライズ事業セグメントについては、既に①新規受注額回復に向けた各種施策の取り組みに着手していること、②一過性である大型のダウンセルは下半期以降には生じておらず、既存顧客からのアップセルが増加傾向にあること、などから MRR が増加に転じ、今後成長軌道の回復を見込める状況にあります。加えて、M&A による成長事業の新たな柱の構築については、連結業績予想にある通り当期の着地見通しへの貢献がすでに見込まれています。

今後につきましては、主力事業である「flier business」の成長軌道を着実にしていくこと、および、M&A を通じて生成 AI 等による人材育成の新たな事業の柱を構築していくことにより、当グループの売上高及び利益の継続的成長の実現に努めてまいります。

以 上